

山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川 晴峰

組織力 あるいは 人の和 (輪) について

世の中も地域社会も学校も、そしてそれぞれの御家庭も、多少の違いはあれ、全てが組織体です。それを構成しているのは個々人ですが、組織には組織のきまりや申し合わせ事項が、暗黙の内に存在しています。それは緩やかな、そして最低限の取り決めであり、集合体がうまく機能していくために必要最小限の常識だと思います。「言わなくても、すんだ時代」から、「言っても機能しない時代」に変わりつつあるのが、今の社会的背景かもしれません。寂しいかぎりですが・・・。

98名の子供たちが学ぶ山田小学校も、典型的な組織体のひとつです。保護者や地域の皆様方から御覧になって、うまく機能しているのでしょうか？14名の教職員で年度当初より「何事にも組織的に対応していこう！」という共通理解の元で仕事を進めているつもりですが・・・。

様々な仕事が、突発的に発生することもあります。単純作業の繰り返しという日もあります。本校では、誰かが作業をしていると、その付近に自然と人の輪ができます。組織に属する者としての自覚と言ってよいと思います。その要はやはり教頭先生です。早朝から遅くまで事務処理をはじめ様々な業務に忙殺されそうになる日々ですが、さりげなく共同作業に飛び込んできます。

「仕事だから当たり前。」という見方もあるかもしれませんが、山田小学校では、このような雰囲気大切にしたいと考えています。職員室の環境は、子供たちの教育環境に直結しています。そして本校のPTA活動にも同じ雰囲気を感じます。組織体として、熱い血が流れているのを肌で感じます。子供たちの為に、今後とも組織的な御協力をお願いします。

料理上手の6年生, 美味かったバイ!

先週、6年生の家庭科で、調理実習がありました。「炒める」ことを主眼とした授業でした。活動の様子を見学に行くと、どの子供たちも手際よく調理をしていました。

味付けもしっかりしていました。盛りつけ方にも工夫があり(写真が無いのが残念です)、食欲を刺激する仕上がり具合でした。「生きる力」＝「食べる力」です。ファストフード全盛の昨今ですが、手作りの良さを大切にしていくことを忘れてはいけないと思います。

冷凍食品にインスタント食品、確かに手軽で便利です。料理に時間や愛情を注いでも、味に変わりはないかもしれませんが???休日や時間のある時は、親子で台所に立つのも素敵なことだと思います。「男子厨房に入らばからず」・・・そんな時代ではないと思います。私は料理が好きなので、毎日のように厨房に入ります。料理は科学であり、化学でもあります。また盛り付けには、色彩感覚も必要です。極めて奥深い分野です。さて、今夜は何を作ろうか?毎週月曜日は、麺料理です!